



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 シークス株式会社

上場取引所

東

コード番号 7613

URL <https://www.siix.co.jp>代表者 (役職名) CEO兼COO 代表取締役 (氏名) 平岡 和也
社長執行役員問合せ先責任者 (役職名) CFO 取締役 常務執行役員 (氏名) 蒲田 顕久 (TEL) 06-6266-6415
財務経理部長 兼 IR・広報部長

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	74,036	2.0	2,687	△5.4	3,163	18.1	2,243	20.3
2025年12月期第1四半期	72,581	△1.2	2,842	70.1	2,679	45.9	1,865	89.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 3,873百万円(-%) 2025年12月期第1四半期 △3,838百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	47.60	47.59
2025年12月期第1四半期	39.61	39.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	209,385	106,480	50.6
2025年12月期	207,862	103,784	49.7

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 105,916百万円 2025年12月期 103,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	3.6	9,500	7.3	9,000	△2.5	6,000	141.1	127.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	50,400,000株	2025年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	3,262,347株	2025年12月期	3,262,347株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	47,137,653株	2025年12月期 1 Q	47,092,135株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、個人消費は労働市場の悪化やインフレの加速により弱含みが続いているものの、企業の景況感は改善しており、A I 関連分野を中心に景気は底堅く推移しております。欧州では、良好な雇用環境と安定した物価動向を背景に、個人消費が底堅く推移しており、景気は緩やかに回復傾向にあります。アジアにおいて、中国では、サービス消費や固定資産投資の回復がみられる一方、長引く不動産市場の低迷により、景気は弱含みで推移しております。その他のアジア各国では、個人消費等の内需の底堅さを背景に、景気は緩やかな回復基調にあります。日本では、エネルギー価格の高騰リスクにより先行きの景気に懸念はあるものの、個人消費や設備投資等の内需が堅調に推移しており、景気は緩やかに回復しております。当社グループが関連するエレクトロニクス市場では、米国の旺盛なA I 需要を背景にメモリ等の設備投資のオンショアリングが進展しており、欧州では環境対応やパワー半導体への投資により域内サプライチェーンの強化が進んでおります。また、中国では米国の輸出規制等により最先端プロセスへの投資が制約され、競争激化にともなう価格圧力が見られる一方、東南アジアはEMS/O DM拠点としての役割を強め、自動化を中心とした設備投資が旺盛でありました。当社グループは、CASEやIoTといった技術革新や気候変動対策にともなう自動車・産業機器の電動化により中長期的な需要拡大が見込まれると認識しており、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を図って参ります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は740億3千6百万円と前年同期に比べて14億5千4百万円の増加(2.0%増)となりました。利益面では、営業利益は26億8千7百万円と前年同期に比べて1億5千4百万円の減少(5.4%減)となり、経常利益は31億6千3百万円と前年同期に比べて4億8千3百万円の増加(18.1%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は22億4千3百万円と前年同期に比べて3億7千8百万円の増加(20.3%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、管理区分の見直しにともない、従来「調整額」に含めていた「全社(共通)」のうち「シークスエレクトロニクス株式会社」を、「日本」セグメントに含めて表示しており、前年同期との比較・分析は、変更後の区分にもとづいております。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。また、「売上高」にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(日本)

産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は252億6千9百万円と前年同期に比べて28億3千5百万円の増加(12.6%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は4億2千1百万円と前年同期に比べて2億1千8百万円の増加(107.5%増)となりました。

(中華圏)

情報機器用部材および家電機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は180億1千9百万円と前年同期に比べて5億1千4百万円の減少(2.8%減)となりました。

利益面では、売上高が減少したこと等により、セグメント利益は1千8百万円と前年同期に比べて2億7千1百万円の減少(93.7%減)となりました。

(東南アジア)

家電機器用部材および情報機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は279億4千3百万円と前年同期に比べて3億4千3百万円の減少(1.2%減)となりました。

利益面では、売上高が減少したこと等により、セグメント利益は11億3千8百万円と前年同期に比べて6千2百万円の減少(5.2%減)となりました。

(欧州)

車載関連機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は55億6百万円と前年同期に比べて9億4千6百万円の減少(14.7%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減等により、セグメント利益は1億9百万円となりました。(前年同期は1億9千5百万円のセグメント損失)

(米州)

産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は214億6千3百万円と前年同期に比べて29億7千7百万円の増加(16.1%増)となりました。

利益面では、荷造運賃が増加したこと等により、セグメント利益は11億4千1百万円と前年同期に比べて1億7千8百万円の減少(13.5%減)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて15億2千3百万円増加(0.7%増)し、2,093億8千5百万円となりました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産18億5千5百万円の増加(3.2%増)、現金及び預金8億4千7百万円の増加(2.8%増)等により、1,553億8千9百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11億1千4百万円減少(2.0%減)し、539億9千5百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて11億7千2百万円減少(1.1%減)し、1,029億5百万円となりました。

流動負債は、買掛金21億8千9百万円増加(5.4%増)しましたが、短期借入金24億7千4百万円の減少(16.9%減)等により、前連結会計年度末に比べて3億2千2百万円減少(0.5%減)し、712億8千3百万円となりました。

固定負債は、長期借入金7億5百万円の減少(7.0%減)により、前連結会計年度末に比べて8億4千9百万円減少(2.6%減)し、316億2千1百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定15億5千万円の増加(4.7%増)等により、前連結会計年度末に比べて26億9千5百万円増加(2.6%増)し、1,064億8千万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.7%から50.6%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日に公表した2026年12月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,069	30,917
受取手形、売掛金及び契約資産	58,660	60,515
商品及び製品	21,128	21,488
仕掛品	1,646	2,021
原材料及び貯蔵品	33,716	33,055
その他	7,592	7,457
貸倒引当金	△62	△67
流動資産合計	152,751	155,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,650	19,435
機械装置及び運搬具（純額）	11,857	11,075
土地	5,172	5,180
その他（純額）	6,004	6,022
有形固定資産合計	42,685	41,713
無形固定資産	2,063	1,957
投資その他の資産		
投資有価証券	2,757	2,716
出資金	1,771	1,831
その他	5,872	5,819
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	10,361	10,325
固定資産合計	55,110	53,995
資産合計	207,862	209,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,680	42,869
短期借入金	14,602	12,127
未払法人税等	2,807	2,286
その他	13,515	13,999
流動負債合計	71,606	71,283
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	10,145	9,440
退職給付に係る負債	1,106	1,118
その他	6,218	6,063
固定負債合計	32,471	31,621
負債合計	104,077	102,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,513	5,513
利益剰余金	68,807	69,872
自己株式	△6,064	△6,064
株主資本合計	70,400	71,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177	△97
為替換算調整勘定	32,961	34,511
退職給付に係る調整累計額	48	36
その他の包括利益累計額合計	32,832	34,450
新株予約権	12	12
非支配株主持分	538	551
純資産合計	103,784	106,480
負債純資産合計	207,862	209,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	72,581	74,036
売上原価	64,996	66,416
売上総利益	7,584	7,619
販売費及び一般管理費	4,742	4,932
営業利益	2,842	2,687
営業外収益		
受取利息	133	133
持分法による投資利益	0	—
為替差益	—	57
補助金収入	65	39
物品売却収入	10	36
スクラップ売却益	43	77
固定資産売却益	1	219
その他	92	259
営業外収益合計	346	823
営業外費用		
支払利息	250	162
持分法による投資損失	—	82
為替差損	183	—
物品購入費用	3	4
その他	71	97
営業外費用合計	509	347
経常利益	2,679	3,163
税金等調整前四半期純利益	2,679	3,163
法人税、住民税及び事業税	1,020	965
法人税等調整額	△198	△41
法人税等合計	821	924
四半期純利益	1,858	2,239
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,865	2,243

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,858	2,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	79
為替換算調整勘定	△5,545	1,534
退職給付に係る調整額	4	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	23
その他の包括利益合計	△5,696	1,634
四半期包括利益	△3,838	3,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,807	3,861
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,039	13,270	24,067	6,135	15,068	72,581	0	72,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,394	5,263	4,220	317	3,417	21,613	△21,613	—
計	22,433	18,534	28,287	6,453	18,485	94,194	△21,613	72,581
セグメント利益 又は損失(△)	203	290	1,201	△195	1,319	2,818	23	2,842

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△21,613百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額23百万円の内訳は、セグメント間取引消去219百万円、全社(共通)の区分の営業損失△196百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,556	12,980	23,273	5,228	15,995	74,036	0	74,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,712	5,038	4,669	277	5,467	24,166	△24,166	—
計	25,269	18,019	27,943	5,506	21,463	98,202	△24,166	74,036
セグメント利益	421	18	1,138	109	1,141	2,829	△141	2,687

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△24,166百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額△141百万円の内訳は、セグメント間取引消去39百万円、全社(共通)の区分の営業損失△181百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、管理区分の見直しにともない、従来「調整額」に含めていた「全社(共通)」のうち「シークスエレクトロニクス株式会社」を、「日本」セグメントに含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。)およびのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	2,296百万円	2,260百万円
のれんの償却額	3百万円	3百万円